

平成 19 年 8 月 13 日

連 絡 先 農 水 商 工 部 水 産 室 室 長 林 文 三 水 産 振 興 グ ル ー プ 担 当 者 林 電 話 059-224-2584

資料提供について

1 報告事項

コイヘルペスウイルス病でへい死したコイの発見（四日市市楠町北五味塚地内農業用水路）について

2 要 旨

8月6日に四日市市管理の農業用水路（四日市市楠町北五味塚(杓コミヅカ)地内）で発見したマゴイへい死魚1尾及び衰弱した1尾について、県水産研究部でコイヘルペスウイルス（KHV）の検査を行ったところ、8月9日に一次陽性反応を確認したため、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所に確定診断を依頼した結果、8月13日にKHV病によるへい死と診断されました。

3 報告内容

- (1) 8月3日に四日市市民から四日市市楠総合支所に四日市市管理の農業用水路（四日市市楠町北五味塚(杓コミヅカ)地内）にコイのへい死魚を発見した旨連絡があり、同支所職員が確認したところ、マゴイ3尾のへい死を確認しましたが、腐敗が進んでおり、検査等は実施できませんでした。
- (2) 8月6日再度、県四日市農林商工環境事務所環境室と四日市市職員が共に現場確認をしたところ、死んだマゴイ1尾と、衰弱したマゴイ1尾を発見し、回収しました。
- (3) 県水産研究部にて、これら2尾のマゴイについて、KHV病の一次検査を実施した結果、8月9日にこのうちの1尾について、陽性反応を確認しました。
- (4) 陽性反応のあった1尾につき、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所（南伊勢町）に確定診断を依頼していた結果が8月13日に判明し、KHV病と診断されました。
- (5) 感染経路については、今のところ不明です。
- (6) 本病はコイ特有の疾病で他の魚や人に感染することはないため、仮に感染したコイを人が触ったり、食べたりしても人体に影響はありません。
- (7) なお、県内でのKHV病発生事例は平成15年11月に四日市市で確認されて以来、今回が17例目で、本年度になってからは1例目となります。また、全国では平成15年10月に茨城県の霞ヶ浦で最初に確認されて以来、47都道府県で確認されています。

4 今後の対応方針について

KHV病まん延防止を図るため、四日市市による定期監視パトロール、へい死魚の取り上げと焼却処分、用水路からのコイの持ち出し及び放流の制限（張り紙及び楠総合支所発行の広報誌等により周知）を行います。

5 その他：KHV病関連ホームページ

三重県農水商工部水産室ホームページ

<http://www.pref.mie.jp/SUKYOKYU/gyousei/koiherupesu/newpag1.htm>